

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 土岐商業高等学校 学校運営協議会 (第1回)
- 2 開催日時 令和8年6月25日(木) 13:30～15:30
- 3 開催場所 土岐商業高等学校校長室
開催にあたり、委員による授業見学を実施した
- 4 参加者

会 長	藤 田 裕 子	藤田陶器株式会社 代表取締役
副 会 長	榑 原 悟	総合研究大学院大学 先端学術院長
委 員	鈴 木 辛	東海旅客鉄道株式会社土岐市駅 駅長
	長谷川 富 一	土岐市土岐口財産区 議長
	川 松 万里子	土岐地区更生保護女性会 会長
	酒 井 真 吾	土岐商業高等学校育友会 会長
学 校 側	服 部 幸 広	校長
	谷 口 嘉 文	教頭
	上 田 剛 也	事務長
	溝 口 美智代	教務部長
	近 藤 大 貴	生徒指導部長
	奥 村 秀 雄	進路指導部長
	伊 藤 陽 介	商業部長
	細 川 鼓太朗	記録
- 5 会議の概要(協議事項)
 - (1) 授業見学
 - ・対話的な授業やICTを活用した授業を見学
 - (2) スクール・ミッションと教育指導の重点及び学校経営計画
 - ①教育の重点及び学校経営計画 ②教務部 ③生徒指導部 ④進路指導部 ⑤商業部
 - (3) 商業科としての取組～特色ある取組～
 - ・「大いに学び、考え、楽しむ」中で、「やりたい」を「できる」に、「なりたい」を「叶える」にできる土岐商の商業教育
 - ・「資格取得」と「地域連携」の2本柱
 - ・完全公募型プロジェクト「達人カップ」
 - ・土岐商サイダークラウドファンディングプロジェクト「教室から世界へ」
 - ・卒業式前日の1、2年生に向けた「3年生と語る会」

意見 1 : 探究活動における沖縄研修について、近年沖縄に関する様々な社会的課題も話題となっている中で、研修先として沖縄を選定している理由はどのようなものか。

⇒ 沖縄研修は、生徒や保護者からの希望が非常に多く、飛行機利用を含めた非日常的な体験や沖縄ならではの学習機会が得られることから実施している。費用面や交通手段の課題はあるものの、ニーズが高いため継続している。

意見 2 : 自転車の交通ルールが厳格化される中、生徒の危険な運転を見かけることがあるため、安全意識の向上に向けた指導を一層充実させるとよい。

⇒ 県教育委員会の通知や警察作成の資料を活用して、生徒及び保護者へ周知を行っている。また、地域から寄せられた苦情や意見については、その都度生徒へ指導し、安全な利用を呼びかけている。

意見 3 : 企業課題に関する探究活動について、地域の実情や地場産業への理解を深めるため、地域の事業者等から直接話を聞く機会をさらに充実させるとよい。

⇒ 現在は探究活動の手法を学ぶ段階として外部業者が提供する企業課題を活用している。地域課題や地場産業との連携については今後の課題と認識しており、地域関係者の協力を得ながら取組の充実を図っていく。

意見 4 : 授業において I C T 機器が効果的に活用されており、時代に応じた学びが実践されていると感じた。また、探究活動は教育現場だけでなく企業等でも重視されており、本質を追究する姿勢を育む取組として重要であると感じた。さらに、授業中の生徒の様子は生き生きとしており、教員と生徒の関係も良好で、学校の教育方針が十分に浸透していると感じた。

意見 5 : パソコンやタブレット、スマートフォンなどデジタル機器の活用が進む中で、今後の学習環境や情報活用能力の育成の在り方に関心を持った。また、デジタル化が進む一方で、文字を書く力や資料を読み取る力など、基礎的な学習能力を育成することも引き続き重要であると感じた。

⇒ 生徒一人一台端末の活用が進む中で、今後は学習環境の変化に対応していく必要があると考えている。一方で、デジタル活用だけでなく、文字を書く力や資料を読み取る力などの基礎的な能力も重要であるため、両者のバランスを図りながら教育活動を推進していく。

意見 6 : I C T を活用した実践的な学習が充実しており、大変有意義であると感じた。また、土岐市駅前の活性化に関する取組は興味深く、若い世代の視点や発想を今後もまちづくりに生かしてほしい。さらに、自転車の交通ルールの厳格化により生徒が戸惑う場面も考えられるため、安全指導や適切な助言を継続するとよい。

意見 7 : 商業高校の教育活動や I C T を活用した学習の様子を初めて知り、時代の変化や教育の進展を実感した。また、A I やデジタル技術の活用が進む中で、生徒の思考力や考える力をどのように育成していくかが重要であると感じた。今後の学校の取組にも期待したい。

意見 8 : I C T や A I の活用が進む中でも、文字を書く力や基本的な学習習慣、人との関わりを通して育まれる人間性は引き続き大切にしてほしい。また、社会で求められる資質として、専門的な知識・技能だけでなく、挨拶や誠実さなどの基本的な態度を身に付けた生徒の育成を期待したい。

6 会議のまとめ

第1回学校運営協議会では、全委員より今年度の本校の学校経営計画を踏まえた学校運営基本方針について承認が得られた。

I C Tを活用した実践的な授業や探究的な学び、生徒の主体的な活動、地域との連携の取組について高い評価を得ることができた。一方で、地域課題や地場産業と結び付いた探究活動のさらなる充実、自転車利用に関する交通安全指導の継続、そしてI C TやA Iの活用を進める中においても、書く力・考える力・人間性・コミュニケーション能力などの基礎的な資質・能力を大切に育成していくことの重要性が確認された。今後は、学校経営計画に基づき、地域や企業との連携を一層深めながら、専門的な知識・技能の習得と豊かな人間性の育成を両立し、生徒一人一人が主体的に学び、地域や社会に貢献できる人材の育成に努めていくことを共通認識として会議を終了した。